



潮風

平成8年7月10日発行(年2回刊)

〈教育後援会だより〉
しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279 千葉県浦安市明海8
電話 0473-55-5112 FAX 0473-55-5117

平成8年度教育後援会の運営方針・事業計画

会長 丹下 剛
副会長 川口 一郎

さる5月26日(日)の評議員総会で本年度の事業計画が承認されましたので、この紙面で教育後援会が父母の立場で現在何をしようとしているのかご説明したいと思います。

今年度は教育後援会が設立されて9年目になります。10周年を目前にして、明海大学が将来どのように発展していくのかを考えながら、本年度の運営方針を定めました。

1. 運営の基本方針

教育後援会の皆様から収納された総資金は多額であり、まず、これを大学の運営にいかにつとめて活用するかが最も重要な事業であります。資金は在学生に還元されるものという意見があります。将来の施設の建設資金を積み立てていくことも必要で、要は明海大学の発展に寄与することが肝要なことと考えています。本年度の方針で強調したい点を2、3述べてみます。

2. 年間行事への資金運用

1つ目は海外研修の実施です。学生会館などの設備充実にむけて教育後援会としても広い視野からビジョンを築くことを目的として企画しました。

①教育後援会が主体的に大学

そのほか、本年度は以下の行事を予定しています。

②特別講演会の開催：今年度3回目の学生向けの特別講演会にアメリカのエモリー大学アンサリ教授を招いて6月に浦安と坂戸キャンパスで講演を企画しました。

③父母の勉強会：今年度は9月、10月に浦安キャンパスの先生に講演をお願いして就職、カリキュラムなど学生にとって重要な課題について勉強する予定です。

④海外研修：昨年は岐阜県の姉妹校朝日大学、昨年は本学坂戸キャンパスにある歯学部を訪問しましたが、今年度は3年越しの計画で10月にアメリカ東海岸の4大学の研修旅行を行い、研修成果を報告書にして報告会で発表します。

3. そのほかの継続事業への資金運用

①借上集合住宅の契約更新
教育後援会が特別会計を組



▲ 丹下会長

ました。役員会で協議した結果、昨年度は運動部・陸上部、サッカー部、ヨット部等の関東および全国学生選手権大会への参加、体育祭の開催、文化部の合同発表会などに、約250万円を追加援助しました。今年度もこの臨時資金援助を定着させて学生の課外活動のレベルアップを奨励していく方針です。

④明海大学の広報誌『Meikai』を父母へ配布するための資金運用
大学に関する情報がもっとほしいという地区懇談会での父母の意見を反映させるため、大学本部の広報課との話し合いで、今年度から大学の月刊広報誌である『Meikai』を2カ月に1回まとめて全学

生に配布することにしました。留學生には父母宛てでなく本人に発送します。明海大学の主な情報は『Meikai』でお届けしています。

⑤父母の情報紙『潮風』発行
従来の教育後援会だよりを模様がえして今年1月に本紙『潮風』を発刊しましたが、本年度の編集方針として『潮風』を父母の情報交換の場とすることとしましたので寄稿を歓迎します。

⑥大学の行事、施設厚生、就職活動などの大学に対する継続的な資金運用については予算表をご覧ください。

※年間事業計画表、年間予算表は別添同封してありますので、ご参照ください。

建学の精神があります。本学の建学の精神はここに繰り返しますが、それをどのような形でどのような仕方で具現し、どのように本学らしさを発揮するかについて、ひとまず今年と来年の2カ年にわたって、全浦安キャンパス横断的な教職員委員会を作って検討し、できることから実践することになりました。

「魅力ある大学づくり」委員会として、学長の諮問機関兼ワーキング・グループで、①集中教育による外

ご挨拶

学長 大東 百合子



1996年度、明海大学は浦安の3学部1700余名、別科日本語課程に60名、それに歯学部と歯学研究所に130余名と、全部で1900余名の新入生を迎えて、ますます活気にあふれております。新入生のご両親・ご家族の皆様も喜びのことと、心からお祝い申し上げます。

昨年度末で私の学長の任期は終わりましたが、重ねての任命を受けて、しかもその任期が3年に延長されましたので、1998年度末まで教育後援会の皆様とお付き合いいただき、いろいろとお世話さになることと存じます。

学生さんたちやご両親の声に耳を傾ける機会を多くして、これからの若い人々にとって必要なこと、学び甲斐のあること、魅力ある学習と学生生活の場を、創り出すことに努めたいと考えております。

日本経済の急成長と並行して高等教育機関への進学率も上がり、大学生の数も急増しましたが、18歳人口が1992年をピークに急減に転じたことは、大学、特に私学に対し深刻な問題を引きつけております。

大学の教育・研究の質は従来も常に問われてきた問題ですが、現在の危機に直面して大学人は一層真剣にこの問題と取り組まざるを得なくなっております。私学にはその拠って立つ

新年度の抱負

会長 丹下 剛

早いもので、浦安キャンパス教育後援会の会長を務めて1年が過ぎましたが、先般の評議員総会でご承認いただいたことで2年目の就任に際して、さらに責任を感じています。全国的に私立大学には教育後援会が組織されていますので、参考事例は大いに取り入れ、明海大学の教育後援会の発展に努力して参ります。明海大学の卒業生は5期目になり、大学サイドのご配慮でこの4月より渡辺氏が後援会と同窓会の事務局長を兼務することが決まり、同窓会の組織作りも軌道に乗りつつありますが、しばらくは後援会の力がなにかと必要であることは皆さまにもご承知いただけるものと思

います。

本紙で運営方針にも述べましたとおり、本年度は明海大学の経営者サイド、教職の先生方と十分な意思疎通を図ることを最重要課題にしたいと考えております。

これは就職対策においても重要ですが、さらに秋に予定している海外研修では米国東部海岸の4つの私立大学との意見交換と見学を目的とし、父母と一緒に明海大学の先生・職員のご同伴を得られればそれだけきめ細かい研修ができ、図書館の運営・カリキュラムの改善、将来の学生会館とか留学生会館の施設の増設などで、いろいろな意見を交換できるのではと期待しています。

平成8年5月28日

1996年度、評議員会開催 新規事業を盛り込んだ事業計画、予算を承認



挨拶する 丹下会長

5月26日(日)、浦安キャンパスで1996年度の教育後援会評議員会が開かれた。大学側からも大東学長をはじめ多数の教職員が出席。各地から集まった約60名の評議員が、今年度の事業計画や予算について審議を行った。

開会にさきがけて丹下会長が「地区懇談会をはじめとする教育後援会の活動が、各方面から評価をいただいている。そのためか、父母の要望が大学側に伝わるようになってきている。さらに活動を充実していくために、今年は新しい行事も計画したい」と挨拶。

議事に入り、昨年度の入試状況、就職状況について学校側が報告した後、昨年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画案と予算案が発表された。

行った地区懇談会は、大学周辺と、東北、北陸、東海地区の4カ所で予定されている。今年度の予算では、会員からの希望が多い地区懇談会や広報活動に関する費用を増やした。

また、学園祭や学食の補助など全学行事援助費が3000万円(昨年+400万円)、教育研究補助が620万円(同+300万円)と、学生の活動に対する補助をさらに厚くしている。

さらに、学費の半額を補助する奨学金も1350万円の予算を組み、留学生も含む50人を援助できる体制をとっている。

この案に対して「学生からの希望があれば、学園祭やクラブ活動などに対する補助を厚くしてほしい」という要望が出された。

1995年度の事業報告と決算、また1996年度の事業計画案と予算案は満場一致で承認された。

父母と教職員が活発に意見交換

審議終了



後、レストラン・ニューマリンスに会場を移し、懇親会が行われた。先生方と親しく意見交換ができる機会とあって、どのテーブルもなごやかな歓談が続いていた。そして、4年間幹事として活躍し、無事任期を終えた貝原和年さん、柳田雅子さん、中島嶺子さん、原幸子さん、野田雅子さんの5人に感謝状が贈られた。貝原さんは「明海大学の名前は、

大学に望むことは?

評議員に聞きました

「子どもはのびのびと学生生活を送っているようです。ただ、学校の知名度が低いので、スポーツなどで集まり活発に質疑応答が行われます。大変有意義で貴重な体験をさせていただきました。このご縁で大学に出向く機会が与えられ、設備の整っている素晴らしい環境の中で、生活を送れる学生たちをうらやましく感じました。私だけでは足りないと思います。役割、それは、まず出席することからだと思います。明海大学のますますの繁栄と発展を心よりお祈り致します。」

評議員を体験して

評議員としての役割

井上英雄

なぜ、私が評議員に! 思いもかけない一本の電話から始まった。不安な気持ちのままお引き受けしました。年1回開催される会議に出席。北は北海道、南は沖縄の委員の方々が一堂に

評議員としての役割

立花辰男

93年から評議員会に出席して3回目、本日に早いものと自分ながら驚いています。93年に初めて出席して、学内見学が最も思い出に残っています。「建物」「教室」「設備」の立派さには驚きました。わが子はじめ明海大学の学生諸君は本当に幸せものだと思えます。95年に新設

Campus watching

学生食堂「マリンス」



メニュー

デリシャスセット	450円
定食(和洋、中華)	400円
どんぶりもの	430円
アレンジカレー	300円
きつね(うどん・そば)	250円
味噌ラーメン	380円

学生たちの胃袋を満たしてくれる学生食堂の「MARINES」。多い時は、1日で昼間1000食、夜200食が出る。1階・2階合わせて637席あるが、ピーク時には超満員となる。

メニューは、定食類と麺類とカレーライス、ピラフなど一品物という構成に

「休講が多い先生がいらっしやるようです。授業料を払っている立場からすると、きちんと講義をしてい

ただきたいと思っています」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「今日初めて大学を見学しましたが、ホテルみたいきれいだ。設備が素晴らしい

「昨年、子どもが語学研修で中国に行きました。あちらで友達をたくさん作り、今もその方たちと楽しいお付き合いが続いています。子どもの意欲をかき立ててくれた先生に感謝しています」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「休講が多い先生がいらっしやるようです。授業料を払っている立場からすると、きちんと講義をしてい

ただきたいと思っています」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「休講が多い先生がいらっしやるようです。授業料を払っている立場からすると、きちんと講義をしてい

ただきたいと思っています」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「休講が多い先生がいらっしやるようです。授業料を払っている立場からすると、きちんと講義をしてい

ただきたいと思っています」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「おしゃべりする学生が多くて、講義が聞こえないこともあるようです。学生たちがもっと自覚してほしい」

「休講が多い先生がいらっしやるようです。授業料を払っている立場からすると、きちんと講義をしてい

ただきたいと思っています」

卒業、Graduation 父母たちの4年間

■今年娘が卒業致しました。彼女にとって大学とは、と聞いて見ると、自由なわがままな世界だったようです。明海大学を選んだのも本人の意志で、学部も自分で決めたのです。こうして早4年たち自由な校風に大人への人間的成長を感じます。歴史がない大学だけに、一年一年の積み重ねが校風をつくっていきいます。留学生との交流をふくめて良い経験となったようです。私も、後援会を通して大学教職員に接し一人ひとりが真剣に取り組んでいる姿に感

動し、明海大学の10年、20年後の姿が楽しみに思えます。 ■早いもので、もう4年経ってしまいました。一人の親として学生の意識・大学生活の充実・就職状況等に目を向けてきましたが、刻々変化する情勢の中で良くも悪くも変化していく学生の状況を実感して、「大学生」になったとはいえ親の出る幕があるのではと考えています。大学との連携時代の流れに成長していきいくことと思いますが、親としてどうだったろうかと考えたとき、恥ずかしい思いを感じます。3年間役員としてな

ればと思います。 ■夢と味の街・浦安 知性豊かな街・浦安 そんなキャッチフレーズがピッタリの環境の中、明海生は4年間勉学にいそしむ。 教育後援会のお手伝いをさせていただき、諸先生方との

んとなく時を過ごし、4年目にしよと教育後援会の何たるかが少し分りかけたという情けない状態です。これから学生と親元の連携のためにがんばってくださる役員の方々に心からのエールを送ります。 原 幸子

■役員をお引き受け致しましてから月日の過ぎるのは速いもので、あっといふ間の4年でした。その間、皆さまのお力添えをいただきながら微力ではありますが、何とか私なりにお役目を果たすことができました。また、歴代の会長を中心に役員一同一丸となって教育後援会の発展にさまざまな取り組みをしたことは、皆さまに喜ばれる結果につながったと自負しております。役員を退任するにあたりまして、教育後援会のますますのご発展をお祈りいたします。 中島嶺子

私とはわけ一芸に秀でてはいるわけではないので、せめて教養ぐらいはと大学に入學



▲学位記を受け取る卒業生

4月10日(水)、浦安キャンパス体育館で1996年度入学式がイギリス、韓国から来賓を迎え、国際色豊かに行われた。

「国歌斉唱」の後、大東学長より入学許可が告げられ、大学教育が「過去の伝承の時代」は終わり、国境文化の壁を越えた「創造的な時代」にあると説いた。

そして最後に教育後援会の組織について、大学設備・カリキュラムの財政支援、サークル活動の援助、奨学金制度の実施など、4年間の学生生活を側面からサポートする目的で設立されていると説明した。

海外からの来賓を迎え行われた

1996年度 入学式



▲学位記授与式

今年の話題は、国内初となる不動産学部の第一期生(1部211名・2部98名)が卒業したこと。大東学長は、「これからが本場の勉強。ボーダレス時代における情報交換や流通、交流の可能性を平和や飢饉のない社会の実現、環境保全などのために見出し出してほしい。また、知識の獲得や技能修練のみならず、思いやりの心、状況判断する意志を持ち続け、大学で得たものを社会に還元していったほしい」と言葉を贈った。続いて宮田慶三郎理事長の挨拶は理事長の体



▲入学式で挨拶する 大東学長

のぞいてみよう、学生ライフ

今号から親元を離れ、一人暮らしをしている生徒にスポットを当て、どんな暮らしをしているのか、その生活ぶりを紹介する新コーナーです。

今回、紹介する学生は、外国語学部・英米学科2年、2画 制作、広報、参加団体などの担当がいて、それぞれが準備をします。学園祭当日から入学に伴い引越越し、昨れが一つになる、その時が一年から千葉県松戸市のアパートで一人暮らしをしている。

5時頃夕食で麺類などの軽い食事をし、6時から9時までは授業。午後10時に帰宅し、遅い夕食。「野菜を食べなくては」と健康に気を使っているものの、現実にはほとんどレトルト食品のカレーや牛丼。それでも実家から毎月お米と野菜を送ってもらっているため、野菜炒めやシチューなどを作ること。

生活費は12万円 アルバイトをしていない柴田さんの1カ月の生活費は、実家からの仕送り12万円。使いみちは大半が家賃、食費で消費、自由に使える分は、休日に彼女と映画を観たり、洋服を買いに行き、また月に1、2

度友人と居酒屋に飲みに行くことも。「デートでも飲み会でも支払いは全て割り勘です。実際お金を持っていないし、学生だから見栄を張ってもしかたありません」

そのほか本代に月5千円程度使う。「毎週買おうのは少年マガジン、そのほかビジネス関係の本で、特に本田宗一郎や松下幸之助などの成功した人の話が好きです」と話す。将来は語学を生かし、アニメーション制作に就きたいと、英語検定やTOEIC資格取得のため一日2、3時間自宅で勉強をしている。

柴田さん 米・英学科 2年 柴田 明さん



外国語学部 米・英学科 2年 柴田 明さん

1日の行動

AM10:00	起床
AM11:00	朝食・洗濯・掃除
PM 0:00	学校通学 (自宅から徒歩25分)
	学園祭打ち合わせ
	*空いている時間は本を読む
PM5:00	軽食
PM6:00	授業
PM9:00	授業終了
PM10:00	帰宅
AM 0:00	風呂、食事
AM 2:00	勉強
(3:00)	

生活費12万円の内訳



希望に溢れる新入生



日本語学科 門馬優子

明海大学にはたくさんの留学生の方がいます。私がいる日本語学科にも約10人の方がいます。私はこの人たちと



英米語学科 宮垣和歌子

学校行事の盛り上げ役のような組織とは縁遠かった私だが、明海大学に入ってから最初に興味を持ったのが学園祭実行委員会だった。入って



中国語学科 豊田亮太

いろいろな人間がいて、これからいろいろな人間と出会うと思う。大学生活に限ったことではないが人間との出会いによってこれから先がさまざまな彩りを持つてくると思う。誰かが僕に話しかけてくれることで僕の存在が確認できるし、また嬉しいことだ。出会いを大切にしていきたい。



経済学科 三吉貴之



不動産学科 吉澤幸人

私はとりわけ一芸に秀でてはいるわけではないので、せめて教養ぐらいはと大学に入學

circle サークル紹介

文化系の活動を支える 縁の下の力持ち

学術文化連合会

学術文化連合会は、文化系の部活動（10）、サークル（24）、同好会（5）の活動のバックアップを目的につくられた組織で、文化系部団体からの有志で構成される。各目、所属する部活動との両立をこなし、忙しい日々を送っている。4月にメンバーが変わり現在10名。新体制となった連合会は、各部団体の活動内容と収支報告書の取りまとめ、学生総会の資料作成、発表、展示の企画などたくさんさんの「裏方仕事」をこなす、文科系活動を支える大切な存在だ。



▲ 合同発表会「茶道部」

文科系は、日頃の活動を部屋の中で行うことが多く、勝敗を競い合い、実績を残すということもあまりないので、活動の状況がなかなか見えてこない部分がある。こうした背景もあり、連合会は部団体のピーアールに力を注いでい

る。また「文化は地域に根差すもの」として、地域活動にも積極的に取り組んでいる。今年4月に市民プラザで合同発表会を開催。作品の展示に加え、吹奏楽部の演奏会などを行い、地元浦安の人々との交流を楽しんだ。

会長を務める平松健太郎さん（3年）は、ワンダーフォーゲル部に所属。「多くの学生に知ってもらった」とは、部員数の確保と、レベルの向上にもつながります。作品を見てもらえるスペースについて学校側と交渉したり、発表する方法を企画したり。日頃の成果を見せる場をたくさんつくりたい。そして地域に根差した活動を軸に、文化の和を広げていきたい」と語ってくれた。

部員一丸となって、 1ブロック昇格をめざす

男子ラクロス部

男子ラクロス部（部員35名）は、8月に行われる関東学生ラクロスリーグ戦を控え、最後の調整段階に入った。毎年行われるこの大会は、1ブロック昇格を決める上で、もっとも重要とされる大会。過去、平成4年に2ブロック優勝の実績を持つが、入れ替え戦で1ブロックのチームに負け、惜しくも昇格は見送り。昨年も勝敗は互角ながら、得失点差で2ブロック優勝を逃すという、今一步の結果が続いている。その悔しさが原動力となり、今年の男子ラクロス部には、今まで以上に強い闘志が溢れている。

男子のラクロスは女子と異なるルールを持ち、かなりハードな点が特徴。まずはしっかりと体力づくりが必要と、筋肉と体力の強化トレーニングを重視してきた。その成果がどんな現れているようだ。

今年5月には、全国的なラクロスの交流会ともいえる全国地区対抗戦で、関西の大学と一戦を交えた。違う地域との交流からは、技術や勝敗の結果にはない、さまざまなことを学ぶという。「新たな仲間が増えることで、自分たちの視野も広がっていきます。練習での励みにもなりますね」と砂川主将は張り切っている。

心身ともに成長した男子ラクロス部。4年生にとって最後となるこの大会で、1ブロック昇格への期待が高まっている。



▲ 男子ラクロス部の面々

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

クローズアップ

CLOSE UP

学生部長 松本光平教授



1936年生まれ。東京工業大学卒業後、建設省建築研究所第一研究部長を経て、明海大学不動産学部教授に。都市法が専門。（工学博士）

「申請書に目を通すと、いったルーチンワークがほとんど。もうひとつの仕事の方は、できればないほうがいいですね」不動産学部では都市法

「しかし、受験勉強の弊害か、試験前になると「丸暗記しますから、正解を教えてください」という学生も出てくるのか。」「建築の世界は、言葉で

「明海大の学生に望むことは、どんな時でも夢と希望は捨てるな。勇気を持ってチャレンジしてほしい」。

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートのが主な仕事。ときには、学生の起こした事故の事後処理に

大学のあるまち

浦安 ②

「在学中1回きりの大祭」

皆さまの住む市町村にも「名物」なる祭りがあるかと思ひます。

学生たちが通うここ浦安にも4年に一度の大祭が今年6月15日・16日の2日間行われました。

古くからの養殖とアサリなどの近海漁業で栄えてきたこの街は、元来祭りが盛んで、冠婚葬祭を派手に行う地域でした。祭りに欠かせないものの一つとして、「神輿」が上げられますが、東京近辺の神輿の多くは、隣街の行徳で製作されています。その美しさは目を奪われるほどで完成度の高い神輿です。有名な作品に神田明神の「百貫神輿」、台輪四尺の下谷神社の神輿などがあります。

さて、この祭りは土地っ子が中心となって今年初めから本格的な準備に取りかかり、祭りの前日の14日、神輿は各地区の神社に宮入りし宵宮を迎えました。宵宮は大祭前の小祭なので、にぎやかな振舞いがあるものの、氏子衆は決してハメをはずしません。なぜならその後、神輿を神輿に迎える「御霊うつし」の儀式が厳かに始まるからです。



▲ 4年に一度の浦安大祭
「マイダ・マイダ」の掛け声で進む神輿

氏子衆は整列し、目を閉じて頭を垂れ神聖な時を過ごします。そして大祭を迎えるのです。

今年役員たちも新しい住民の積極的な参加を呼び

「第75回関東学生陸上競技対校選手権大会（2部）」陸上競技部報告

平成8年5月19日から21日まで、国立競技場で開催された大会に、本学から「参加標準記録」を破っている経済学部3・4年生男子10名・女子1名が出場し、活躍した。個人入賞者

■4×400mリレー
第6位（3分21秒48）山口（3年）・徳満（3年）・大橋（3年）・徳田（4年）
■110MH（11・2m）
優勝（14秒71）徳満和弘3年、第2位（14秒85）笠原稔（4年）
■400MH
第4位（53秒41）徳満和弘（3年）、第6位（53秒92）笠原稔（4年）
■走り高飛び
優勝（2m11）前田和也（4年）、第4位（2m05）出川隆（4年）

「もっと援助が必要」と率直な意見も 有意義だった留学生との懇談会

2月24日（土）不動産学部棟3階会議室で、教育後援会役員と卒業を控えた外国人留学生との懇談会が行われた。出席したのは、葛大杰さん（経済学部）、尹相明さん（経済学部）、林巨干さん（外国語学部・英米語学科）、那袁玲さん（外国語学部・日本語学科）の4名の留学生と丹下会長はじめ教育後援会役員、川田国際交流課長ら。留学生、役員の双方から活発な意見交換があり、特に留学生からは、4年間の在学経験が具体的に述べられるなど、今後の教育後援会における国際交流対応の参考となる意見が聞かれ、たいへん有意義な会となった。

住宅、アルバイト探しが難問題

司会：4年間を明海大学で過ごした感想と、大学や教育後援会への要望があればお話しください。

葛：教育後援会との話し合いは初めてですが、毎年こ

のような場を持ったほうがよいと思います。

4年間の感想ですが、明海大学は私費留学生が多く、国の奨学金などの援助を受けている人は少ないようです。だから、ほとんど

の留学生はアルバイトをしています。しかし、大学を通じて掲示される求人広告を見てアルバイトを申し込んでも、留学生ということ

で断られるケースが多い。教育後援会で手助けをしていただけたらと思います。

また、2万5千円の教育後援会費を毎年払っていても、利益を受けたという実感が無い。活動の内容を

教えてください。

尹：教育後援会のことは初めて知りました。私は住まいのことがいけば困りました。アパートを借りるとき、留学生ということ

で断られてしまい、探すのがたいへんでした。これから、多くの留学生が同じ悩みを持つと思うので、援助を検討してほしいと思います。

もっと日本人学生と交流したかった

林：講義のただでなく日本語講座を設けてほしい。日本人ともっと交流したかったが、言葉の壁があった友人を作るのが難しかった。

また、国際交流センターロビーは、利用したくても規則があつてなかなか利用できなかった。

学生寮は重要検討課題

那：私は外国語学部日本語学科に在籍していましたが、授業科目が少なくないと思いましたが、他大学の同じ学科に通っている人に聞くと、もっと専門科目が多いようです。さらに勉強したいので、大学院を目指しています。できれば明海大学に大学院がほしい。先ほどアパートで困ったとの話がありましたが、日

本では民間のアパートに入るとき、部屋代のほかに負担するお金が多くてたいへんでした。学生寮があれば解決するし、寮の中で国際交流もできるのではないのでしょうか。



▲外国語学部日本語学科 那 袁玲さん（台湾出身）

新年度の事業活動に活かしていきたいと思っています。

小林：浦安市では留学生のホームステイ受け入れを積極的に進めています。明海大学関係では台湾の東呉大学から、短期受け入れを行なっていますが、実は4月

留学生にも教育後援会のピーアールを

員原：いろいろな意見を伺いましたが、日本人学生からも、外国人留学生からも教育後援会の会費を徴収しているわけですから、平等に問題解決にあたる必要があると思います。

司会：会費の中で会員全般にわたる事業としては、会報の発行、卒業生への記念品贈呈があります。また、国際交流サマーセッ



▲留学生の生の声が参考になった。



▲経済学部 尹 相明さん（韓国出身）



▲経済学部 葛 大杰さん（中国出身）



▲外国語学部英米語学科 林 巨干さん（台湾出身）



▲留学生を囲んでなごやかな雰囲気懇談会

丹下：教育後援会では7月ごろに会報「潮風」を発行予定です。今日のご意見を広く父母会員に連絡し、問題解決に向けて協力をお願いする予定です。多くの意見をお寄せください。

司会：予定の時間になりました。まだ多くの意見もあると思いますが、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

今日は4人の留学生のみならず、貴重な意見をいただきました。ありがとうございます。3年生以下に在学している留学生もいろいろ要望があると思います。これを機会にコミュニケーション不足を解消し、大学として取り組むべき問題を自覚して努力したいと思っています。

また、留学生のみならずはこれから卒業していくわけですから、明海大学は自分の母校でもあるわけですから、後輩、特に留学生諸君のために助言していただければと思います。今日はどうもありがとうございました。

（司会 近江学生課長）

より魅力的な高等教育を目指して

カリキュラム改訂

文部省令の改訂により、大学独自のカリキュラム作りが可能となった。本学でも、建学の精神をベースに、特色のあるカリキュラム作りが進められ、平成6年に外国語学部と経済学部が、そして不動産学部も今年度から新カリキュラムに移行している。新しいカリキュラムについて、教務課梅沢課長に話を伺った。

旧カリキュラムでは、まず卒業に必要な単位数があり、次に教養科目の単位数、専門科目の単位数の枠があった。さらに第一外国語、人文、自然、体育がそれぞれ何単位と細かく規定されていた。この「単位数」の規定がゆるめられたことで、独自のカリキュラム作りが可能となった。

本学の新カリキュラムでは、これまでの教養科目、専門科目という分け方がなくなり、第一系列（人文、

単位取得のポイント

カリキュラムについては、1・2年生の新学期に説明会が開かれるので、それをよく聞いて履修の手続きをしてほしい。また、2年から3年に進級する時に、単位の取得状況をチェックしている。最低限これはクリアできるように。そのためにも、必ず取得しなければならぬ必修科目は、確実に単位を取得しておきたい。卒業に必要な単位数は学部やコースに

4月から着任した新しい先生

〈外国語学部〉小池生夫教授（対照言語学） 高倉翔教授（教育原理） Eric R. Mooney助教（オーラルイングリッシュ）
〈経済学部〉中島達洋講師（数学） 佐柄信純講師（経済学概論）
〈不動産学部〉稲本洋之助教授（土地法制度） 藤原祥二教授（商法総論） 中城康彦講師（不動産管理論） 齊藤千尋講師（情報処理基礎演習） 小林武講師（住宅設計実習）

新任の先生からのメッセージ

不動産学部・中城康彦講師

本学では不動産管理論、不動産鑑定実習の講義を担当する。建物設計だけでなく、土地の鑑定から管理までトータルしてわかる人が



Interview
明海大学浦安キャンパスの開学以来、教務部長をつとめている。

幅広い知識と豊かな人間性を身につけてほしい

教務部長 成瀬 隆 教授

「学生が聞いてほしい」といまいと、先生が勝手に講義してはいけません。昔の時代ではありません。昔のようにやっていては、学生はついて来ませんね」

学生のニーズを把握して、それに合った講義にするために、このたび、大幅なカリキュラムの改編が行

われた。一般教養と専門過程に分かれていた大学の講義を、人文社会、自然、外国語などの第一系列、総合科目と専門関連科目の第二系列、これまでの専門科目を第三系列と3系列に分け、四年間で履修するようになった。特徴的なのが第

二系列。経済学、物理学のような縦割りの学問ではなく、「生命と科学の進歩」「病気のからだ」など、いわば雑学的に幅広い知識を得てもらうという総合科目が導入された。学生にも好評で、興味をもって聞いてもらっている。

また、カリキュラムを変えるだけでなく、講義の内容を学生たちに評価してもらうなど、新しい試みがなされる。「教える側も自分の講義が理解されるよう、伝える努力をしないとけない。大学はサービス業です」と成瀬先生。

一方、「カリキュラムの中



プロフィール
高知県出身。大学院卒業後、設計事務所勤務。設計の仕事をしてながら不動産鑑定士の資格を取得。土地の鑑定評価から建築まで、不動産をトータルに見ることが出来る人材として、コンサルティングや企業研修・社会人セミナーなどで力を発揮してきた。

就職 善戦した昨年度 今年も明るい兆しも

超氷河期といわれた昨年度の就職戦線だが、就職率を見ると3学部全体で男子86・5%、女子77・2%、と善戦。なかでも第一期の卒業生を送り出した不動産学部は、男子93%、女子88・6%と就職率がかなり高かった。そのうち、宅地取引主任の取得者53名（うち女子12名）は100%就職した。ほかに、英語や中国語の語学力も高く評価されるなど、企業が客観的に実力を判断できる材料を持っている学生は、かなり有利だったといえる。

バブル崩壊以来ずっと

（就職指導課・地下課長談）

編集後記

「潮風」になって2号目の編集にあたり、本紙を全国会員の交流紙として、もっと身近な知りたい情報の提供を中心に企画編集しました。

大学のこと、学生の生活、クラブ活動、留学生について等、情報は山のようにあり、会員の知りたいこと、要望等を考えると、後援会の役割はますます重要だと感じます。明海大学が立派になっていくには会員の支持と理解、卒業生の社会評価が重要なだけに「潮風」の記事を通じて「ガンバレ明海大学」とエールを送りたいのです。

本紙に対しての要望、記事等ごどんな事務局にお寄せください。編集委員の励ましになります。

4年生の役員は全員、編集委員に加わりましたが、この号で後援会の仕事が終わります。

編集の仕事に取り組むとともに、後援会の役割、必要性を強く感じ、役員も昔とったキネズカと、なつかしく思いつつまとめました。

「潮風」が交流紙として全国の父母に支持され、ますます発展することを望みます。

今年度の事業計画は、会長以下役員の方々が海外研修や地区懇談会等、会員を中心に活動するだけに「潮風」の記事ももっと身近な充実したものになると思います。

次号より編集委員も交代しますので、よろしく願います。

編集委員長 貝原 和年

1996年下半期 学生歴

- 9月9日～14日 前期追（再）試験
- 9月17日 後期授業開始
- 10月31日 後期学生納付金納付期限
- 11月2日～4日 明海祭
- 12月24日 冬季休業開始（1月7日まで）
- 1月8日 後期授業再開
- 1月16日～25日 後期試験
- 1月27日 春期休暇開始
- 2月10日 卒業単位充足者発表
- 2月17日～22日 後期追（再）試験
- 2月28日 卒業予定者発表
- 3月22日 学位授与式
- 3月28日 3年進級者発表